

○ 学校外の屋内温水プールを活用した水泳指導を進めていきます



近年、雨天や低温に加え、猛暑による熱中症予防対策の必要性の高まりなどにより、計画的に水泳指導を行うことが難しくなっております。

こうしたことから教育委員会では、令和2年12月に「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」を策定しました。

この方針では、小学校は奥戸・水元総合スポーツセンターや民間の屋内温水プールを利用して天候などに左右されずに一年の中で計画的な水泳指導を行うとともに、教員の管理・指導のもと、複数のインストラクターも指導に加わることで子どもたちの泳力に合わせた水泳指導を行っていくこととしています。

(中学校は時間割編成で検討が必要といったことがあるため、改築や学校プールの大規模改修時に各学校の状況に応じて対応を検討していきます。)



▲屋内温水プール

基本的な水泳技術を習得することは、学習指導要領に定められている大切な取組です。教育委員会では、令和4年度から順次、学校外の屋内温水プールを利用した水泳指導へと移行し、できる限り早く、すべての小学校で計画的に水泳指導が実施できるようにしていきます。

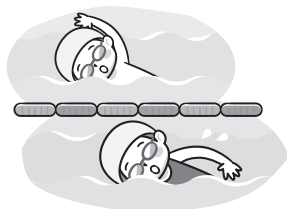
■ よくいただく質問

Q1 移動はどのように行いますか。移動によって水泳指導の時間が短くなりますか。

A1 移動はバス利用を基本として時間短縮を図ります。また、学習指導要領を基に各学校でも弾力的な時間割編成を行い、これまでと同程度の水泳の授業時間を確保します。

Q2 子どもたちを水の事故から守る着衣泳はこれから行うことができますか。

A2 着衣泳はインストラクターも加わりこれらも実施していきます。多くの屋内温水プールでは、一般的に着衣泳教室などが行われており、これらの施設で着衣泳が行えることを確認しています。



西小菅小学校が屋内温水プールを活用して水泳指導を行いました

西小菅小学校では、令和4年9月の新校舎での学校運営開始に向けて改築工事が進んでいます。改築工事期間中は学校プールがないため、今年度は、近隣の屋内温水プールを利用して水泳指導を行いました。



▲水泳の授業の様子

昨年度はコロナ禍で水泳の授業がなかったため、2年ぶりのプールとなります。児童は、久々の水の感触に、水しぶきをあげてとても喜んでいました。また、教員の管理・指導のもと、複数のインストラクターにも加わってもらいながら、子どもたちの泳力に合わせたグループに分かれ、効果的に泳力を向上させる指導を実施することができました。

授業を受けた西小菅小学校の子どもたちの様子や「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」に関する説明動画を作成しました。動画は区公式YouTubeチャンネルで配信しています。

学校施設担当課 指導室
区公式 YouTubeチャンネル
D(0565)48454
F(0565)48471

